

評党 社会 総社

郵便料金は二段階値上げで、来年四月には、ハガキ四〇円・封書六〇円に、また「健保」では国民の負担率が大幅にアップ。更に自衛隊の予算増・人員増とは正反対に

第四次国民大会

ている。

また全土に非常戒厳令がひかれて
いる中で、光州で決起した多くの
市民・学生に対し死刑を含む重
刑が課せられているこれが、もれ
伝えられている。

被爆者援護法を要求し

中央行動へ //

ターにおいても決議がされ、韓民
統日本支部からの百万人署名は国
連人權委で討議されようとしてい
る。一方、全斗煥政權と同様に「
北の脅威」を煽りながら軍国主義
強化・増税・大衆収奪強化を行い
今や憲法改悪にまで手をかけんと
している日本政府・独占は、今回
も型どおり「憂慮表明」をしてい

日本被団協は11月18日・22日、力をあけて援護法制定・大要請運動を取り組む。改憲論議、防衛法案・衆院通過、北方領土の日」決定策動など、一段と拍車のかかる中で、不当に引き伸ばされている「基本懇」答申は、被爆者の期待と要求を無視ものと云えられている。

もとに、入学金や学費値上げ、寄付金徴収が公然と行われている。そして「この闘いは、第一に政府・独占の収奪、増税攻撃に対する闘いの一環としてあり、第二に教育の機会均等破壊に對し、教育権を守る闘いとして、労働者の高等教育要求の闘いと結合して展開されなければならぬ。第三に、各学園での再編阻止の闘いと結合し、その財政計画を粉碎するものとして闘わねばならない。」(第二回全国大会)

全国から自治会統一行動で闘おう。

全国国公私立大学連統学費値上げに反対し、各学園からクラスサークル決議を集中し、学生大会・団交の力を背景に、私大理事会上や、私大当局を追い込んでいかねばならない。この時、値上げの口実としてあるキャンペーンの不当性を徹底的に暴露しなければならぬ。特に私立大学においては、赤字キャンペーンや、学校法人会計の欺瞞性、基本金の不当性を暴露しなければならぬ。そのような各学園からの大衆的決起を背景にして、臨時国会、予算国会の開会を、自治会間統一行動で展開しなければならない。

民青系「全学連」は、このところ、学費値上げ阻止を掲げ闘いを進めている。しかし、彼らにとって、重大な矛盾が同時に進行してきている。それは、これまで「全学連」書記局として打ち出してきた方針を、聞く自治委員長のアピールとして、「祖国と学問の為」の紙上に掲載されていることである。これは、実質的に、「全学連」中央委員会が決定されて行ったことが、有効性をもたなくなり、運動としての彼らのセクト主義の為に、「全学連」内におけるが聞く自治会の統一行動となっていることであり、「全学連」の破産である。

鈴木内閣の軍拡・収奪政策を許さず、国公私立大学連続学費値上げ阻止・放送大学法案完全廃棄に向けて、クラス、学園の闘いから臨時国会・予算国会包囲の大衆運動を築き上げよう。

臨時国会をめぐる攻防は、自民党の「数の強さ」と野党の不統一を見せつけた。このような中にあることは、地域・職場・学園から、鈴木内閣の軍拡と生活破壊に反対する大衆運動を築きあげること以外に活路はないであろう。

我々は、このことを口先で承認して満足するのではなく、いかにその大衆運動を組織するのかわかる。

すでに公労協は、公務員三法についての一万人デモを行い（東京また、11月27日には総評・社会党主催で「憲法擁護国民大会」の開催が予定されている。

我々は、臨時国会の攻防に注意しつつ、十二月の概算請求を見すえ、要求と行動を組織し、予算国会を包囲する広範な大衆運動とその統一を実現せねばならない。

政府自民党により「特措法」(一)
82年打ち切りが策動されている
このような中で部落解放同盟の中
本部は、九月より「特措法」対策
本部を設置し、第一波行動とし
全国研究集会、全国オルグ等を推
め10・30「特措法」集会に集約
てきた。30日は日比谷野音と清
谷公園に約三万人が参加し、国
での「三項目附帯決議」の早期
行と「基本法」制定要求を決議
した。集会には、二五〇を超える
方議会決議に基づき多くの行政関
係者の参加が見うけられた。
31日の狭山再審要求中央集会と
明治公園に約五万人の部落解放

北極星

▼広がる荒野、星条旗がなびく。力強いウボイ帽をななめにかぶり、腰にピストルをさしこんで馬にのる。

▼このカウボーイ姿をしているのは、ジョン・ウエインならぬ時の人、レーガン氏。この姿は、レーガン氏の最も好きなイメージだそうである。大統領選のポスターとして出回った▼米国では、スーパーマンが流行し、「強いアメリカ」へのノスタルジア（郷愁）が広がっていると伝えられる。その波にのつたのが、タカ派を自認し、「力の政策」を掲げるレーガン氏（？）という事らしい▼レーガンは、米国を救うスーパーマン足り得るのか？ 残念ながら答えはNOである。それは、次の

金大中を殺させるな！

11月27日 午後1時
日比谷野外音楽堂

主 催 金大中氏救出

憲法改悪阻止！

国民総決起大会

11月27日 午後6時
日比谷野外音楽堂

主催
総評・社会党

日程

11月18日(火)

決起集会 午後1時～3時
国労会館 東京駅八重州口
デモ行進 午後3時10分～
厚生省交渉

11月19日(水)

請願大会 午前10時
要請行動 全国会議員援護
法への賛同署名獲得
自民党及び野党への要請（
党首及び党役員）団体支援
要請

11月20日(木)

「被爆者と市民の平和のつ
どい」午後2時～5時
東京弁護士会館ホール

11月21日(金)

請願大会、支援要請
要請行動

11
月
22
日
(土)

・要請行動
・総括集会（予定）
―すわり込みは5日間続行―

被爆者援護法要求11月中央大行動

民学同機関誌

新 時 代

第 1 6 号 領価 600円

二人の言葉がよく表している。現在の激動する国際情勢では、現職にいるほど損をする（狼谷東京女子大教授）強い米国の時は現職有利。弱い米国の時は現職不利（木村元外相）▼現職の大統領が敗北したのは実に一九三三年以来、四八年ぶりの大事件。三年といえども大恐慌の直後、今再び現職の大統領が落選した事は米国の地位のかつてない後退を象徴している▼レーガン氏も、現職になればさううまくはいかない事を思い知らされるだろう。カーターも最初は「未知の魅力」「野性的魅力」と騒がれたが、時間がたつにつれカータースマイルは消え、苦虫をかみつぶしたような顔ばかりが新聞に出るようになった▼いずれにしても、米国の後退は避けられない事は明かだ。「米国は、米国が唯一絶対でない事」を学ばねばならない（狼谷氏）だろう。

を決めこみ「二人五百円の参加券（何度も「どうか」をかけ、「機動配布」を強行せんとした。しかし隊の導入まで言明した。しかし行委を中心とした阻止行動により、泊まり込んだ学友たちは屈せず、それは破綻、参加券を受け取った整然と闘争を貫徹し、当局の「白山祭中止、ロックアウト策動」を完全には粉碎した。

か三百人程度であった。

それにもかかわらず、当局は、白山祭の前に行われた朝霞校舎での準備祭、日目をロックアウト、白山祭をやらせないことを策動してきた。これに対し、前日の十二日夕方、当局は突然、「白山祭中止、十八日まで休業」という告示を出し、学外に逃亡した。しかし、各実行委とも自主学園祭貫徹の方針を打ち出し、具体的準備を開始した。

日、社会学部、史学科、国文学科が緊急学生総会を開催、その決定に基づき各実行委は、白山中庭で全学集会を七百名で貫徹、その後ロックアウト運動粉砕を掲げ、一干名をこえる宿泊体制を取った。大学当局は、学内放送を通じ、祭を貫徹しようとしている。

おしらせ

全国の学友諸君ノ支持者、そして定期購読者のみなさんノ
 厚意同中央機関紙「新時代」は、月二回の定期発行を貫徹し
 全国二百五十万学友の政治新聞として大きく前進しようとし
 ています。中央編集局は、十二月から一月にかけての発行予
 定を次の様に考えております。

①十一月一日号・十五日号を合併号（第二四号）とし、四頁で発行します。

②一月一日号と十五日号を合併号（第二五号）として発行します。

①・②とも四頁になりますので、定期購読者の方はご了承下さい。尚、財政の健全化のために、紙代の完納をお願いします。

— 中央編集司 —

— 中央編集局 —